

<県勢参考資料 P47～69>

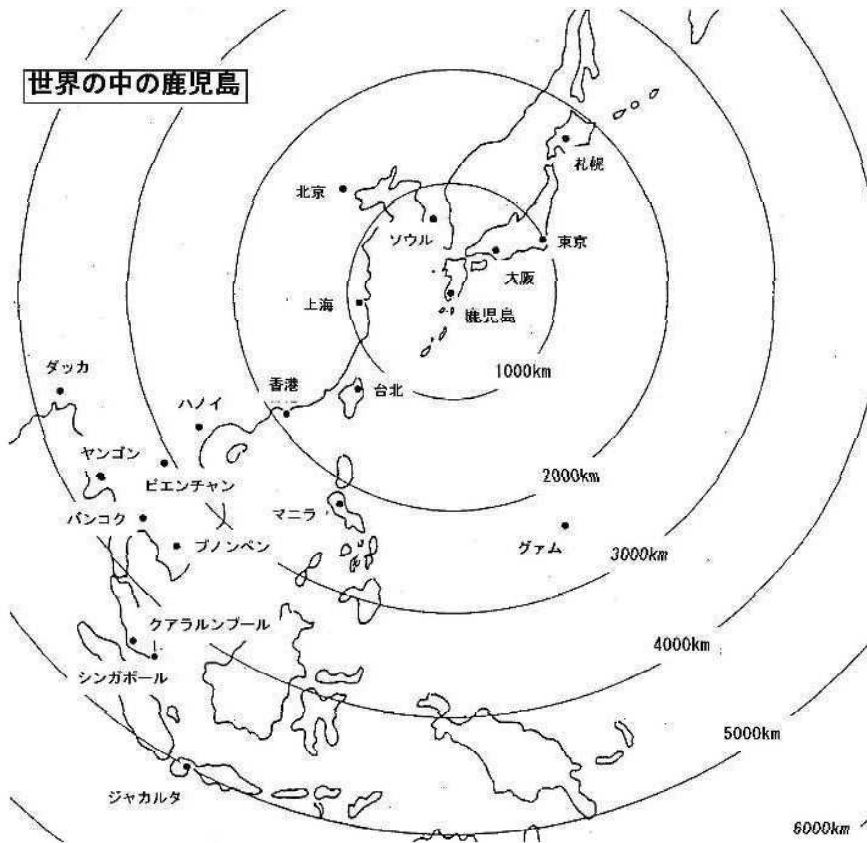
出典：鹿児島県『県勢概要（令和5年4月）』

1 県 土

本県は、我が国本土の西南部に位置し、その総面積は約9,186km²で全国第10位、2,643kmの長い海岸線を持ち、太平洋と東シナ海に囲まれた南北約600kmにわたる広大な県土を有している。気候区は温帯から亜熱帯に至り、全国の中でも平均気温が高く、温暖な気候に恵まれている。種子島、屋久島、奄美群島をはじめとする多くの離島は、本県総面積の約27%と大きな比重を占めている。

中央部を南北に霧島火山帯が縦断し、北部の霧島から南海のトカラ列島まで11の活火山が分布しており、豊富な温泉にも恵まれている。また、県下のほとんどの地域が火山噴出物であるシラス層によって厚く覆われている。

(1) 位 置



極 所 の 経 緯 度 及 び 距 離					
方位	地 名	経 緯 度	方位	地 名	経 緯 度
極東	志布志市志布志町後谷	東経131度12分 北緯 31度35分	極南	大島郡与論町チヂ崎	東経128度27分 北緯 27度01分
極西	大島郡与論町兼母海岸	東経128度24分 北緯 27度03分	極北	出水郡長島町蜂の島	東経130度15分 北緯 32度19分
東西約 267km			南北約 586km		

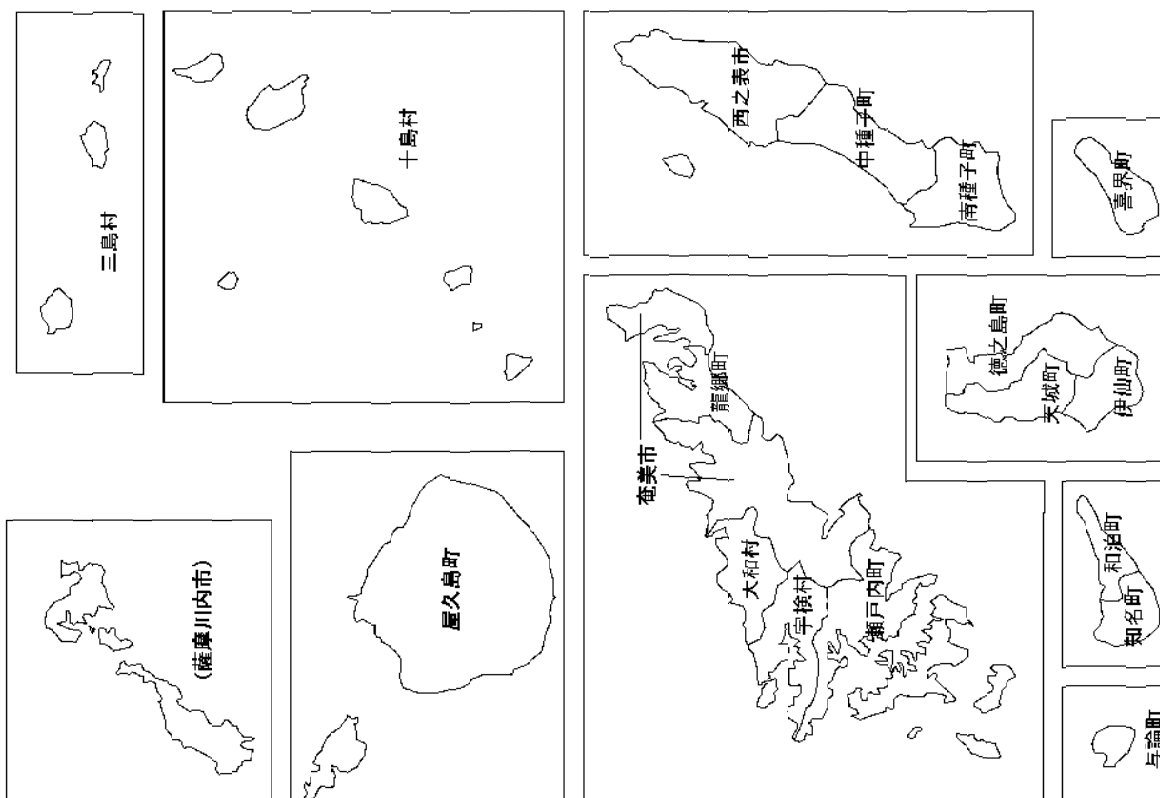
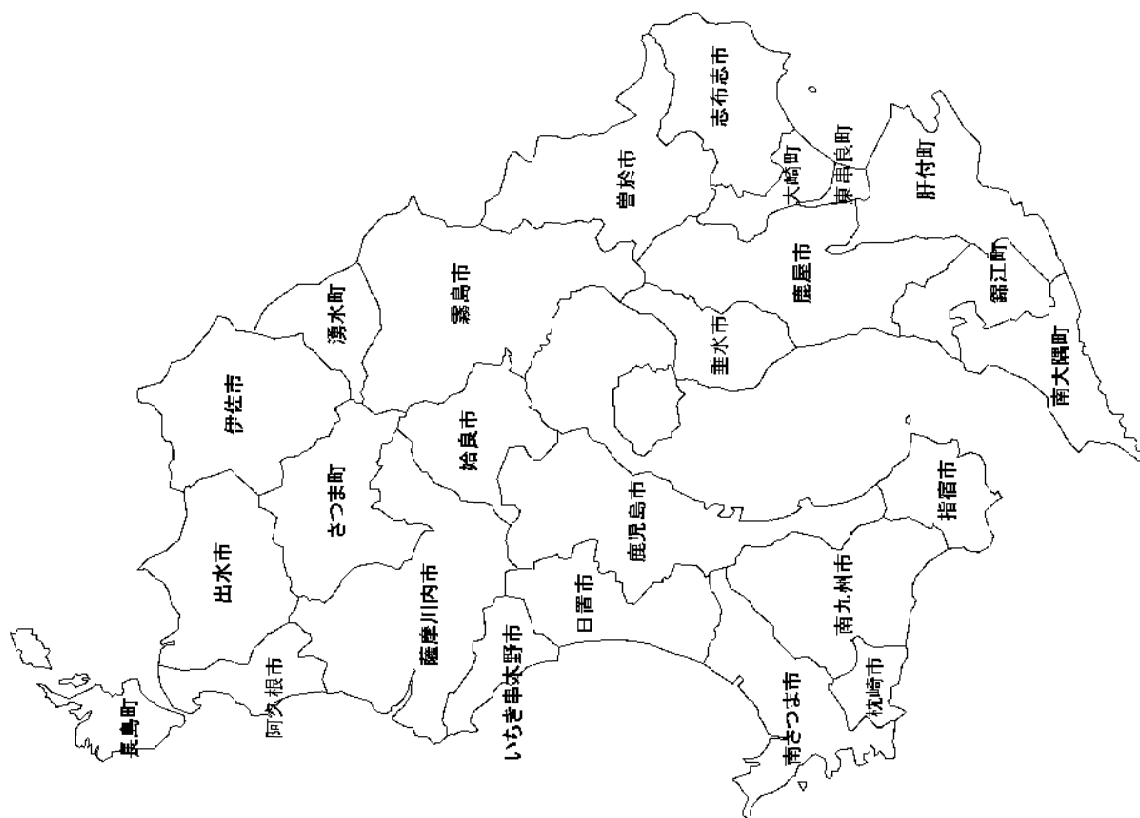
資料：国土交通省国土地理院

(2) 地域特性

総面積	1 2 10	北海道 北岩 : 鹿児島	83,424 km ² 15,275 : 9,186
海岸線延長	1 2 3	北海道 長崎 鹿児島	4,442 km 4,166 2,643
年平均気温	1 2 3	沖繩 鹿児島 宮崎	23.6 °C 19.3 18.2
離島面積	1 2 3	鹿児島 長崎 沖繩	2,474 km ² 1,551 1,012
温泉源泉数	1 2 3	大分 鹿児島 北海道	5,102 本 2,751 2,215
肉用牛飼養頭数	1 2 3	北海道 鹿児島 宮崎	536 千頭 351 250
豚飼養頭数	1 2 3	鹿児島 宮崎 北海道	1,234 千頭 796 724
ブロイラー飼養羽数	1 2 3	宮崎 鹿児島 北岩	28,012 千羽 27,085 22,600
竹林面積	1 2 3	鹿児島 大分 福岡	18 千ha 14 14
農業産出額	1 2 3	北海道 鹿児島 茨城	12,667 億円 4,772 4,417
海面漁業・養殖業産出額	1 2 3 4 5	北海道 長崎 愛媛 宮崎 鹿児島	2,021 億円 893 756 718 649

資料：総面積 … 全国都道府県市区町村別面積調（国土地理院）（令和4年10月1日）
 海岸線延長 … 海岸統計（国土交通省）（令和3年3月31日）
 年平均気温 … 社会生活統計指標2023（総務省統計局）
 離島面積 … 2020離島統計年報（日本離島センター）
 温泉源泉数 … 都道府県別温泉利用状況（環境省）（令和3年3月31日）
 肉用牛飼養頭数 … 畜産統計（令和3年2月1日）
 豚飼養頭数 … 畜産統計（令和3年2月1日）
 ブロイラー飼養羽数 … 畜産統計（令和3年2月1日）
 竹林面積 … 森林・林業統計要覧2022（林野庁）
 農業産出額 … 生産農業所得統計（農林水産省）（令和3年12月24日）
 海面漁業・養殖業産出額 … 令和2年農林水産省「漁業産出額」

2 県内の市町村（19市20町4村）



3 人口の動向

(1) 本県の人口の推移

昭和30年に204万人を超えた本県人口は、高度成長期を通じて減少を続け、昭和47年には、170万人まで落ち込んだ。その後増加に転じ、昭和60年には182万人まで回復したが、翌年には再びマイナスに転じ、その後は減少傾向が続いている。

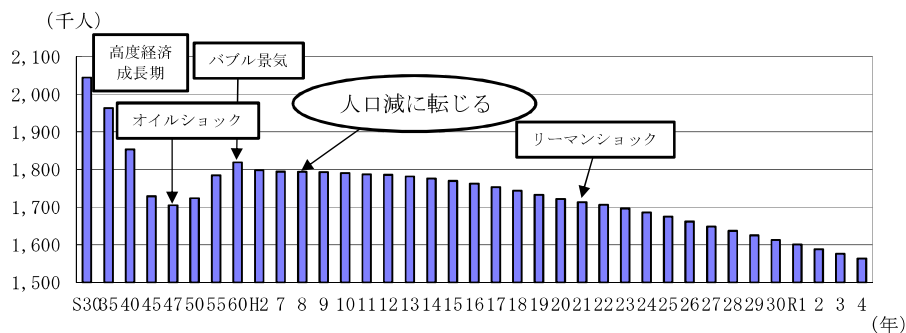
人口減少の要因は、少子高齢化の進展による自然減の進行、若年層の就職・進学による県外への転出がその主なものとなっている。

(単位：人、%)

区分 年	総人口	自然動態			社会動態 ほか	純増減	対前年 伸び率	指数 昭30年=100
		出生	死亡	増減				
昭 30	2,044,112	49,861	16,892	32,969	△ 11,487	21,482	1.10	100.0
35	1,963,104	36,607	15,984	20,623	△ 44,682	△ 24,059	△ 1.20	96.0
40	1,853,541	28,022	15,727	12,295	△ 34,939	△ 22,644	△ 1.20	90.7
45	1,729,150	24,180	16,060	8,120	△ 41,263	△ 33,143	△ 1.88	84.6
47	1,705,008	24,229	14,819	9,410	△ 14,074	△ 4,664	△ 0.27	83.4
50	1,723,902	24,390	15,153	9,237	460	9,697	0.57	84.3
55	1,784,623	24,852	15,537	9,315	1,918	11,233	0.63	87.3
60	1,819,270	23,393	14,996	8,397	△ 2,282	6,115	0.34	89.0
平 2	1,797,824	19,189	15,834	3,355	△ 11,415	△ 8,060	△ 0.45	88.0
7	1,794,224	17,246	17,238	8	2,775	2,783	0.16	87.8
8	1,793,705	16,591	16,565	26	△ 545	△ 519	△ 0.03	87.7
9	1,793,010	16,710	16,468	242	△ 937	△ 695	△ 0.04	87.7
10	1,790,360	16,402	16,639	△ 237	△ 2,413	△ 2,650	△ 0.15	87.6
11	1,787,421	15,782	17,963	△ 2,181	△ 758	△ 2,939	△ 0.16	87.4
12	1,786,194	16,073	17,087	△ 1,014	△ 213	△ 1,227	△ 0.07	87.4
13	1,781,393	15,930	17,245	△ 1,315	△ 3,486	△ 4,801	△ 0.27	87.1
14	1,775,833	16,045	17,360	△ 1,315	△ 4,245	△ 5,560	△ 0.31	86.9
15	1,769,652	15,550	18,071	△ 2,521	△ 3,660	△ 6,181	△ 0.35	86.6
16	1,762,461	15,136	18,006	△ 2,870	△ 4,321	△ 7,191	△ 0.41	86.2
17	1,753,179	15,049	18,791	△ 3,742	△ 5,540	△ 9,282	△ 0.53	85.8
18	1,743,484	14,971	18,886	△ 3,915	△ 5,780	△ 9,695	△ 0.55	85.3
19	1,732,568	15,089	19,265	△ 4,176	△ 6,740	△ 10,916	△ 0.63	84.8
20	1,721,227	15,400	19,845	△ 4,445	△ 6,896	△ 11,341	△ 0.65	84.2
21	1,712,950	15,099	19,710	△ 4,611	△ 3,666	△ 8,277	△ 0.48	83.8
22	1,706,242	15,218	19,789	△ 4,571	△ 2,137	△ 6,708	△ 0.39	83.5
23	1,696,815	15,285	21,256	△ 5,971	△ 3,456	△ 9,427	△ 0.55	83.0
24	1,685,820	14,954	20,911	△ 5,957	△ 5,038	△ 10,995	△ 0.65	82.5
25	1,674,781	14,837	21,185	△ 6,348	△ 4,691	△ 11,039	△ 0.65	81.9
26	1,661,725	14,219	21,560	△ 7,341	△ 5,715	△ 13,056	△ 0.78	81.3
27	1,648,177	14,312	21,640	△ 7,328	△ 6,220	△ 13,548	△ 0.82	80.6
28	1,637,040	13,847	21,322	△ 7,475	△ 3,662	△ 11,137	△ 0.68	80.1
29	1,624,970	13,336	21,661	△ 8,325	△ 3,745	△ 12,070	△ 0.74	79.5
30	1,613,273	13,091	21,968	△ 8,877	△ 2,820	△ 11,697	△ 0.72	78.9
令 1	1,600,783	12,295	21,639	△ 9,344	△ 3,146	△ 12,490	△ 0.77	78.3
2	1,588,256	11,627	21,217	△ 9,590	△ 2,937	△ 12,527	△ 0.78	77.7
3	1,576,488	11,634	21,874	△ 10,240	△ 1,528	△ 11,768	△ 0.74	77.1
4	1,563,124	10,839	23,385	△ 12,546	△ 818	△ 13,364	△ 0.85	76.5

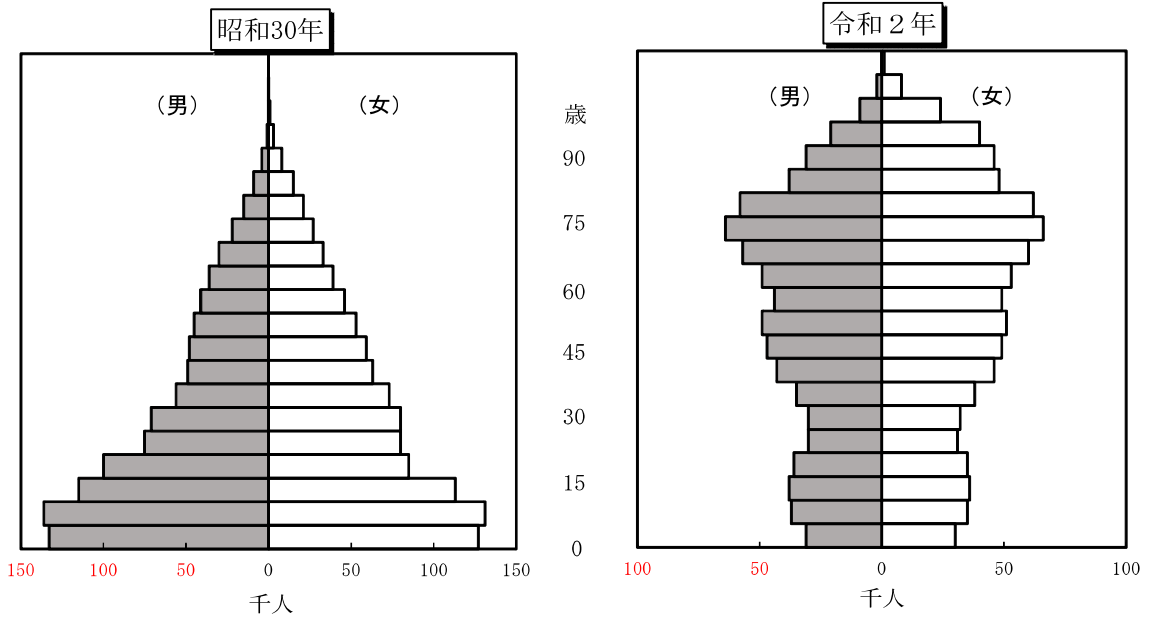
資料：総人口は、毎年10月1日現在で、昭和30、35、40、45、50、55、60、平成2、7、12、17、22、27、令和2年は国勢調査確報結果による。また、中間年のうち、昭和47年及び平成8年以降は県毎月推計人口による。

- (注) 1 「自然動態」は前年10月1日から当該年9月30日までの合計値。ただし、平成7年以前は日本人のみの数値。
2 「社会動態ほか」は、「純増減」から「自然動態」を差し引いたもので、「社会動態」のほか「補正人口」及び平成7年以前は「外国人の自然動態・社会動態」も含まれている。



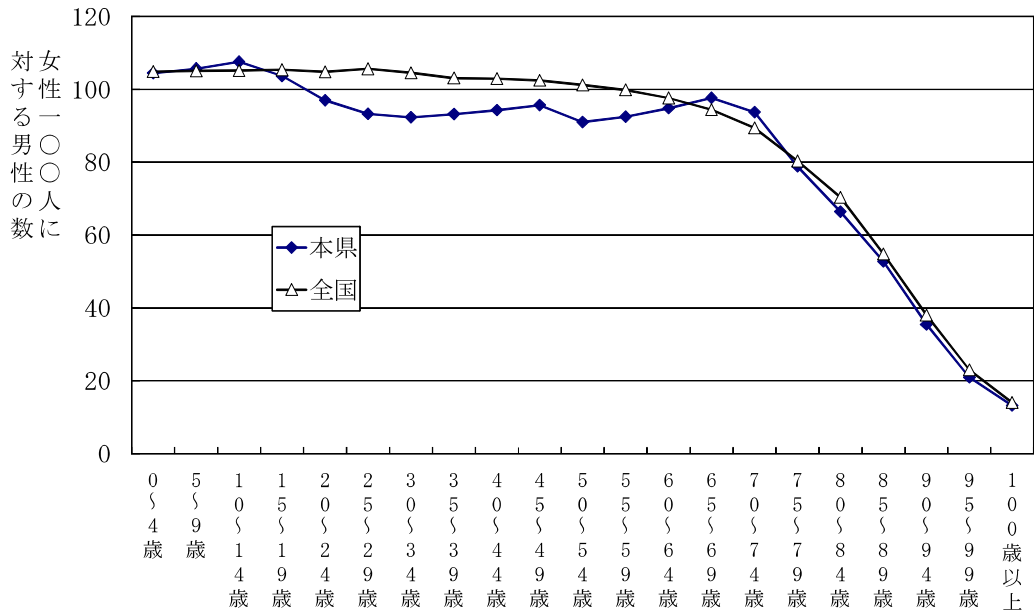
(2) 年齢（5歳階級）別・男女別の人口

① 年齢（5歳階級）別・男女別の人口の推移



資料：総務省「国勢調査」（令和2年は不詳補完値による。）

② 年齢（5歳階級）別人口性比（令和2年）



資料：総務省「国勢調査」（不詳補完値による。）

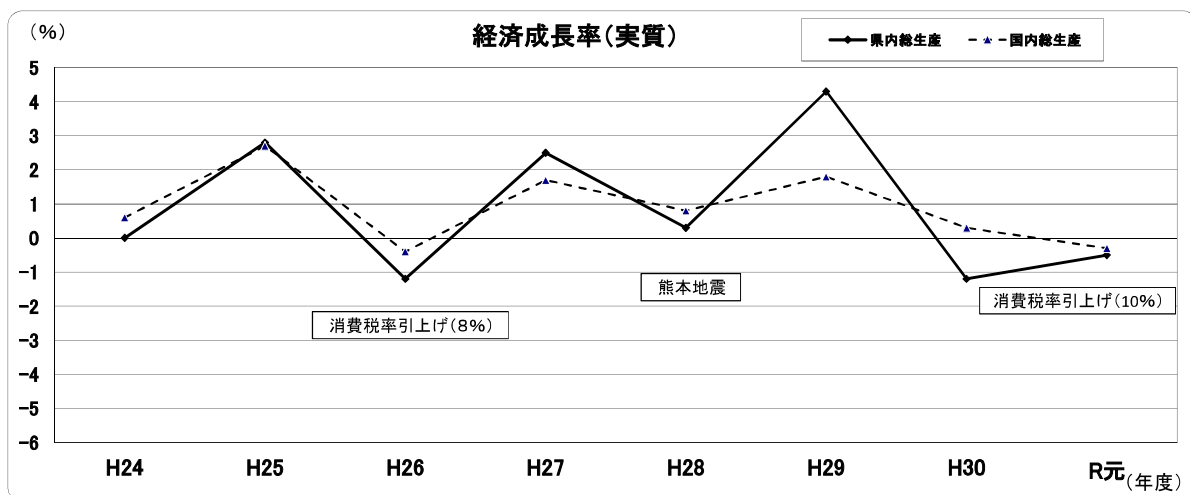
4 経済の動向

(1) 経済成長率と所得の対全国比

令和元年度の本県経済は、実質では2年連続のマイナス成長（△0.5%）となった。

また、一人当たりの県民所得は2,558千円となり、一人当たり所得の対全国比は前年度と比較して横ばいの80.4%となった。

① 本県（国）の実質経済成長率の推移〔県（国）内総生産対前年度比〕



年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
県内総生産	△ 0.0	2.8	△ 1.2	2.5	0.3	4.3	△ 1.2	△ 0.5
国内総生産	0.6	2.7	△ 0.4	1.7	0.8	1.8	0.3	△ 0.3

資料：内閣府（国数値）
〔令和元年度 国民経済計算年次推計〕

（県数値）
〔県民経済計算年報（令和元年度版）〕

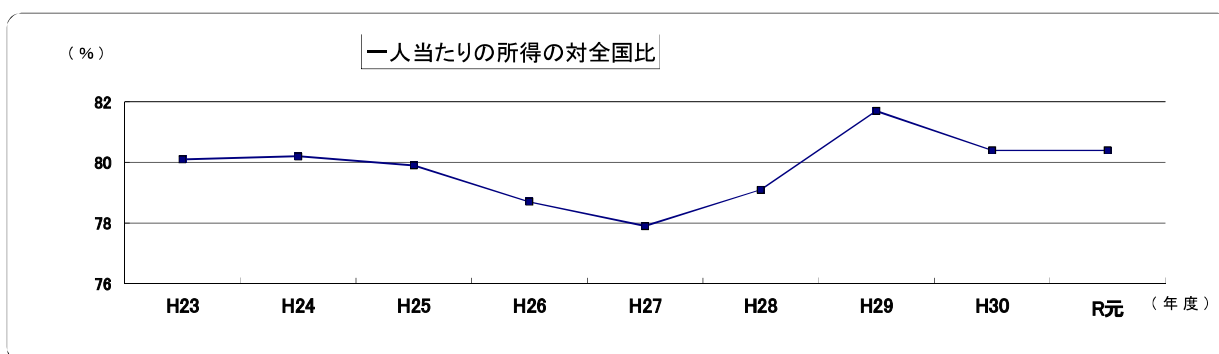
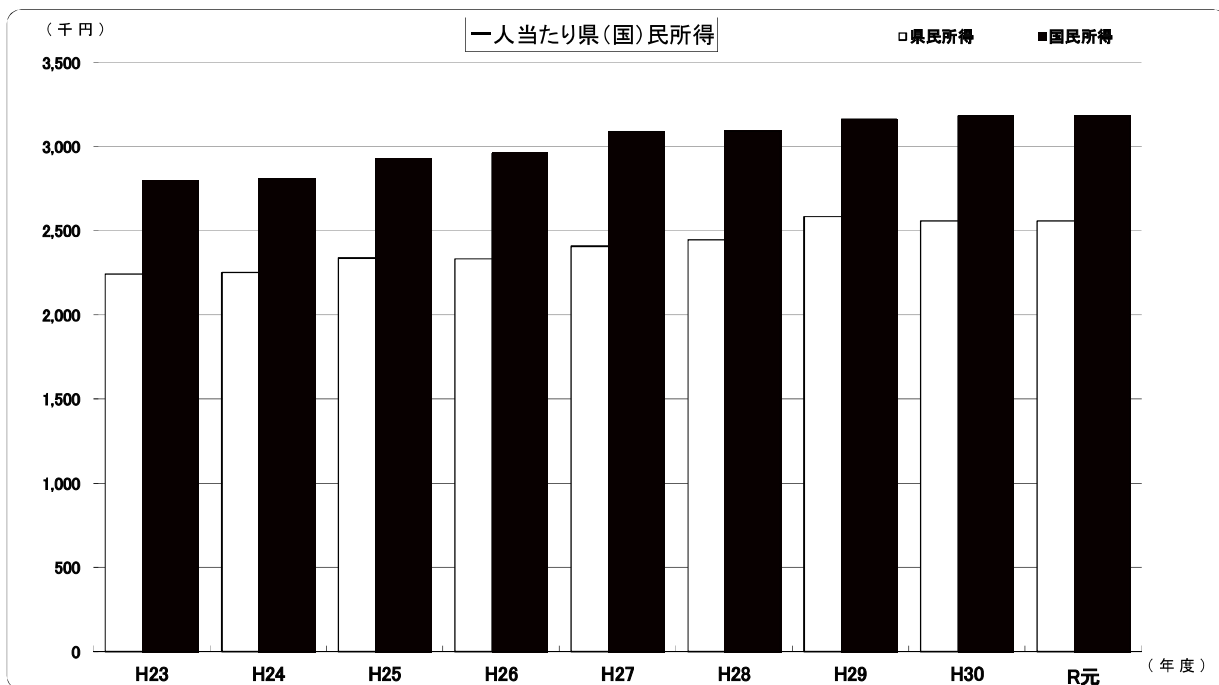
（注）1 2008 SNAによる推計値

※ 「SNA（System of National Accounts）」：国際連合において勧告された国民経済計算の国際的標準体系

2 国内総生産及び県内総生産の実質値は、連鎖方式による。

② 一人当たり県（国）民所得の推移

令和元年度 一人当たり県民所得 2,558千円 対前年度増加率 0.0%
 (参考 一人当たり国民所得 3,181千円 対前年度増加率 △0.0%)



一人当たり所得 (単位：千円, %)

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
県民所得	2,242	2,252	2,338	2,331	2,407	2,446	2,585	2,558	2,558
国民所得	2,798	2,808	2,925	2,961	3,090	3,091	3,163	3,182	3,181
対全国比	80.1	80.2	79.9	78.7	77.9	79.1	81.7	80.4	80.4

資料：内閣府（国数値）
 [令和元年度 国民経済計算年次推計]
 (県数値)
 [県民経済計算年報（令和元年度版）]

(注) 2008 SNAによる推計値
 ※ 「SNA (System of National Accounts)」：国際連合において勧告された国民経済計算の国際的標準体系

(2) 産業構造

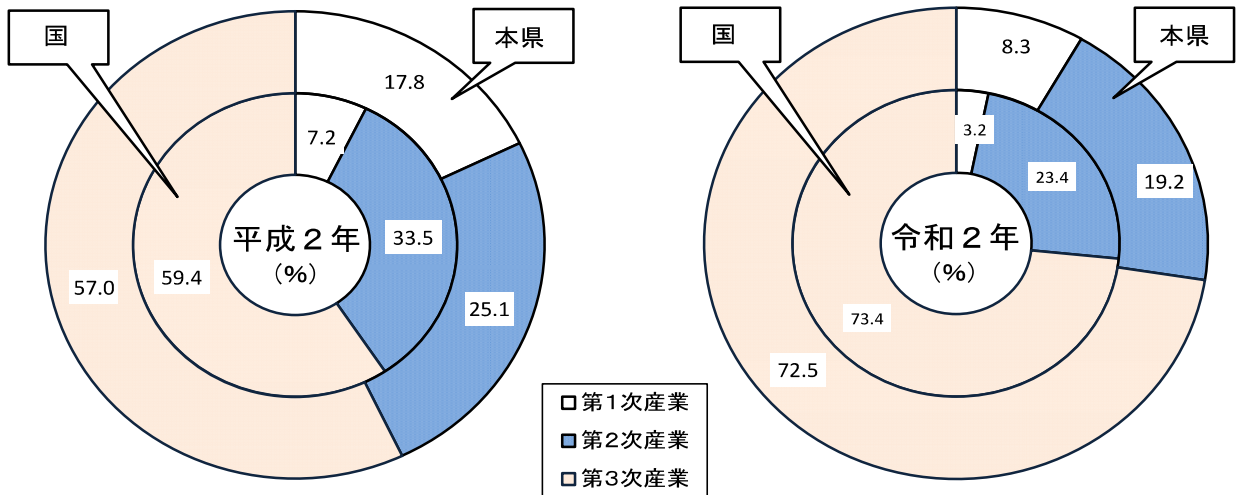
令和元年度の県内総生産の構成比をみると、第3次産業の構成比割合が産業全体の74.6%を占めており、平成2年度に比べ増加している。

一方、第1次産業の構成比は4.6%であるが、国の4.6倍と高くなっている。また、製造業の本県構成比は12.2%であり、国の0.6倍と低くなっている。

① 産業別就業者構成

区分	産業別就業者数 (人)						
	平2	平7	平12	平17	平22	平27	令2
第1次産業	146,277	125,331	99,323	94,858	77,967	71,771	63,892
農業、林業	134,178	114,730	91,032	88,134	72,086	66,555	59,184
漁業	12,099	10,601	8,291	6,724	5,881	5,216	4,708
第2次産業	205,890	208,381	200,548	171,134	146,393	150,868	147,554
製造業	119,566	108,754	105,355	91,169	82,267	84,676	83,039
建設業	85,128	98,291	93,899	79,302	63,467	65,654	63,970
第3次産業	467,366	508,321	526,217	542,490	522,291	556,346	557,537
医療・福祉	—	—	—	100,511	111,597	134,364	143,756
卸売・小売業	166,620	176,852	177,210	141,979	129,557	125,925	118,950
総数	820,576	843,625	828,957	812,594	776,993	778,985	768,983

区分	構成比 (%)													
	本県							国						
	平2	平7	平12	平17	平22	平27	令2	平2	平7	平12	平17	平22	平27	令2
第1次産業	17.8	14.9	12	11.7	10.4	9.2	8.3	7.2	6.0	5.2	4.9	4.2	3.7	3.2
農業、林業	16.4	13.6	11	10.8	9.3	8.5	7.7	6.6	5.5	4.7	4.5	3.7	3.4	3.0
漁業	1.5	1.3	1	0.8	0.8	0.7	0.6	0.6	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2
第2次産業	25.1	24.7	24.3	21.2	19.6	19.4	19.2	33.5	31.3	29.5	26.4	25.2	24.6	23.4
製造業	14.6	12.9	12.7	11.2	10.6	10.9	10.8	23.7	20.5	19.0	17.0	16.1	16.9	15.9
建設業	10.4	11.7	11.3	9.8	8.2	8.4	8.3	9.5	10.5	10.1	8.8	7.5	7.7	7.4
第3次産業	57	60.4	63.7	67.1	70.0	71.4	72.5	59.4	62.7	65.3	68.6	70.6	71.7	73.4
医療・福祉	—	—	—	12.4	14.4	17.2	18.7	—	—	6.8	8.7	10.3	12.4	13.5
卸売・小売業	20.3	21.0	21.4	17.5	16.7	16.2	15.5	22.4	18.6	18.1	17.5	16.4	16.1	15.8
総数	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100



資料：総務省「国勢調査」

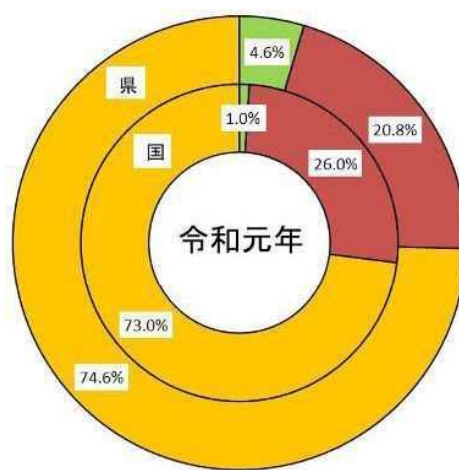
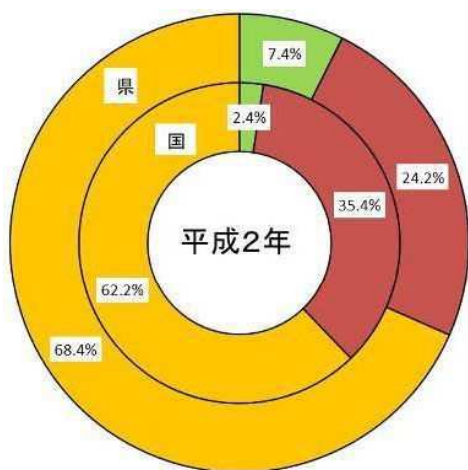
(注) 1 総数には、分類不能の産業(就業者の産業が不明な場合の産業分類)を含む。

2 日本標準産業分類の改訂により、平成12年以前の計数と平成17年以降の計数は単純比較ができない。なお、医療・福祉は、平成12年以前は産業大分類に分類されておらず結果が無いため、掲載していない。(国の平成12年の結果については、改訂後の産業分類に組み替えて集計している。)

② 産業別県（国）内総生産の構成

区分	本県名目値(億円)						
	平2	平7	平12	平17	平22	平27	令和
第1次産業	3,405	2,951	2,600	2,056	2,242	2,461	2,635
農業	2,648	2,403	2,001	1,761	1,683	1,809	1,970
第2次産業	11,087	11,826	13,201	10,779	10,017	10,987	11,911
製造業	5,555	6,237	8,148	7,084	6,700	7,030	7,015
建設業	5,347	5,404	4,909	3,539	3,132	3,740	4,678
第3次産業	31,322	37,513	42,215	42,660	38,613	41,175	42,797
卸売・小売	5,908	6,382	6,306	6,454	5,718	7,247	7,333
サービス業	7,720	9,505	12,274	10,936	-	-	-
政府サービス	5,367	6,481	7,317	7,667	-	-	-
宿泊・飲食	-	-	-	-	1,515	1,493	1,518
保健・社会	-	-	-	-	5,548	6,874	7,420
小計	45,813	52,291	58,016	55,495	50,872	54,623	57,343
関税等	△ 1,342	△ 1,832	△ 1,971	282	254	432	386
県内総生産	44,471	50,459	56,045	55,777	51,126	55,055	57,729

区分	構成比(%)													
	本県							国						
産業	平2	平7	平12	平17	平22	平27	令和	平2	平7	平12	平17	平22	平27	令和
第1次産業	7.4	5.6	4.5	3.7	4.4	4.5	4.6	2.4	1.7	1.5	1.1	1.1	1.0	1.0
農業	5.8	4.6	3.4	3.2	3.3	3.3	3.4	1.8	1.4	1.3	0.9	0.9	0.8	0.8
第2次産業	24.2	22.6	22.8	19.4	19.7	20.1	20.8	35.4	31.5	29.2	26.8	25.5	25.9	26.0
製造業	12.1	11.9	14.0	12.8	13.2	12.9	12.2	25.7	23.7	22.4	21.3	20.8	20.6	20.5
建設業	11.7	10.3	8.5	6.4	6.2	6.8	8.2	9.5	7.7	6.7	5.4	4.6	5.2	5.4
第3次産業	68.4	71.7	72.8	76.9	75.9	75.4	74.6	62.2	66.9	69.3	72.1	73.4	73.1	73.0
卸売・小売	12.9	12.2	10.9	11.6	11.2	13.3	12.8	12.8	13.9	13.0	14.1	13.4	13.1	12.7
サービス業	16.9	18.2	21.2	19.7	-	-	-	15.5	-	-	-	-	-	-
政府サービス	11.7	12.4	12.6	13.8	-	-	-	7.5	-	-	-	-	-	-
宿泊・飲食	-	-	-	-	3.0	2.7	2.6	-	3.1	3.1	2.7	2.6	2.4	2.4
保健・社会	-	-	-	-	10.9	12.6	12.9	-	4.2	5.1	5.7	6.7	7.5	8.0
小計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



■ 第1次産業
■ 第2次産業
■ 第3次産業

資料：内閣府（国数値）

〔H2 「国民経済計算年報（H23年版）」
〔H6～ 「令和元年度国民経済計算年次推計」〕

（県数値）

〔H2～7 「県民経済計算年報（平成15年度版）」
〔H12 「県民経済計算年報（平成21年度版）」
〔H17 「県民経済計算年報（平成26年度版）」
〔H22 「県民経済計算年報（平成30年度版）」
〔H27～ 「県民経済計算年報（令和元年度版）」〕

- (注) 1 県は年度値であり、国は暦年値である。
2 四捨五入の結果、計は必ずしも一致しない。
3 県内総生産の名目値は、各産業の合計から輸入品に課される税・関税等を加算、控除後の計数であるが、構成比については、輸入品に課される税・関税等を加算、控除前の県（国）内総生産を100%として算出
4 国の平成2年と県の平成2年度から平成17年度までの数値は1993 S N Aによる推計値。国の平成6年以降と県の平成22年度以降の数値は2008 S N Aによる推計値。

5 主要指標等

(1) 主要指標 (全国から見た鹿児島県)

項目	単位	全国	本県	順位	備考
《自然環境》					
年平均気温	℃	—	19.2	2	2020年
年間降水量	mm	—	2,978	2	2020年
総離島面積(注)	km ²	377,975	9,186	10	R3. 10. 1
離島数(注)	島	7,629	2,474	1	2020離島統計年報
海岸線延長	km	35,663	2,666	3	2020離島統計年報
温泉源数	本	27,970	2,751	2	R2. 3. 31 R3. 3. 31
《人口・世帯》					
総人口	千人	126,146	1,588	24	R2年国調
一般世帯の1世帯当たり人員	人	2.21	2.11	44	R2年国調
人口性比(女100人に対する男の数)	%	94.7	89.1	45	R2年国調
自然増減率	%	△0.38	△0.59	—	30.10～R1.9
社会増減率	%	0.17	△0.15	—	30.10～R1.9
人口密度	人/km ²	338.2	172.9	36	R2年国調
年少人口割合(15歳未満)	%	11.9	13.1	6	R2年国調
生産年齢人口割合(15歳以上～65歳未満)	%	59.5	54.4	42	R2年国調
高齢人口割合(65歳以上)	%	28.6	32.5	16	R2年国調
出生率	人口千対	6.6	7.4	4	R3年人口動態
死亡率	人口千対	11.7	14.0	14	R3年(暦年)
離婚率	人口千対	4.1	3.7	26	R3年人口動態
結婚率	人口千対	1.50	1.57	8	R3年人口動態
《経済基盤》					
県(国)内総生産(名目)	億円	5,596,988	57,729	—	R1年度
構成比	第1次産業	%	1.0	4.6	国R1暦年, 県R1年度
	第2次産業	%	26.0	20.8	国R1暦年, 県R1年度
	第3次産業	%	73.0	74.6	国R1暦年, 県R1年度
実質経済成長率	%	△0.3	△0.5	—	R1年度
(農業)					
農業経営体数	経営体	1,075,580	29,717	12	R2. 2. 1
個人経営体数	経営体	1,037,231	28,276	12	R2. 2. 1
基幹的農業従事者数	人	1,362,914	37,580	16	R2. 2. 1
耕地面積	ha	4,325,000	111,800	12	R4. 7. 15
農業産出額	億円	88,600	4,997	2	R3年(暦年)
肉用牛飼養頭数	千頭	2,614	338	2	R4. 2. 1
豚飼養頭数	千頭	8,949	1,199	1	R4. 2. 1
ブロイラー飼養羽数	千羽	139,230	28,090	1	R4. 2. 1
採卵鶏飼養羽数	千羽	182,661	11,944	3	R4. 2. 1
(林業)					
林業就業者数	人	—	1,407	—	R3年度
森林面積	千ha	25,048	588	12	森林・林業統計要覧2022
竹林面積	千ha	167	18	1	森林・林業統計要覧2022
林業産出額	億円	4,831	70	19	森林・林業統計要覧2022
製材品等生産額	億円	—	201	—	R3年度
(漁業)					
漁業経営体総数(海面・養殖)	経営体	79,067	3,115	7	H30センサス
漁船総隻数	隻	213,690	8,186	7	R3. 12. 31
漁港数	港	2,780	139	5	R4. 4. 1
海面漁業・養殖業産出額	億円	12,103	649	5	R2年(暦年)

(注) 離島面積及び離島数は、離島関係特別法が適用される有人の離島面積及び離島数である。なお、令和2年国勢調査における本県の離島数は28である。

令和2年国勢調査結果における年齢別人口割合は、不詳補完値による。

項 目	単 位	全 国	本 県	順 位	備 考
《商 工 業》					
小 売 業 年 間 商 品 販 売 額	億 円	1,451,038	16,530	24	27年(暦年)
卸 売 業 年 間 商 品 販 売 額	億 円	4,365,225	27,961	21	27年(暦年)
製 造 品 出 荷 額 等	億 円	3,020,033	19,828	37	R2年(暦年) *従業員4人以上
《観 光》					
延 べ 宿 泊 者 数	千 人 泊	543,236	7,962	22	R1年(暦年)(速報値)
外 国 人 延 べ 宿 泊 者 数	千 人 泊	101,435	791	19	R1年(暦年)(速報値)
観 光 消 費 額	億 円	—	3,016	—	30年(暦年)
《財 政》					
(県)					
歳 出 決 算 額	億 円	663,242	9,386	—	R3年度
財 政 力 指 数	指 数	0.50034	0.33756	40	R3年度
経 常 収 支 比 率	%	87.3	92.8	44	R3年度
将 来 負 担 比 率	%	160.3	195.3	33	R3年度
実 質 公 債 費 比 率	%	10.1	11.3	29	R3年度
(市町村計)					
歳 出 決 算 額	億 円	675,794	10,717	—	R3年度
財 政 力 指 数	指 数	0.50	0.29	—	R3年度
経 常 収 支 比 率	%	88.9	86.3	—	R3年度
《学 校 教 育》					
大 学 等 進 学 率	%	59.5	46.5	46	R4年度 (4年3月卒業者)
《レ ジ ャ ー》					
旅 館 ・ ホ テ ル 数	軒	50,523	859	24	R4.3.31
ゴ ル フ 場 数	か 所	2,207	28	28	R3年度
ゴ ル フ 場 利 用 者 数	千 人	89,694	1,100	29	R3年度
《労 働 者 割》					
就 業 第 1 次 産 業 合 業 率	%	3.2	8.3	9	R2年国調
第 2 次 産 業 業 率	%	23.4	19.2	42	R2年国調
第 3 次 産 業 業 率	%	73.4	72.5	15	R2年国調
完 全 失 業 率	%	2.8	2.7	33	R3年平均
有 効 求 人 倍 率	倍	1.16	1.30	—	R3年度
《居 住 環 境》					
持 家 比 率	%	61.2	64.6	34	30年住宅土地統計
汚 水 処 理 人 口 普 及 率	%	92.6	84.0	37	R4.3.31 (ただし福島県の調査不能な市町村は調査対象外)
水 道 普 及 率	%	98.1	97.7	26	R3.3.31
自 然 公 園 面 積 (対 県 土 面 積)	%	14.8	13.9	27	R4.4.12
超 高 速 ブ ロ ー ド バ ン ド の 利 用 可 能 世 帯 率	%	99.72	98.15	44	R4.3.31
《 健 康 ・ 医 療 》					
病 院 数	人 口 10 万 対	6.5	14.8	3	R3.10.1
病 床 数 (病 院)	人 口 10 万 対	1,195.2	2,032.6	2	R3.10.1
医 師 数	人 口 10 万 対	269.2	293.0	17	R2.12.31
平 均 寿 命 (男)	年	81.49	80.95	38	R2年(暦年)
〃 (女)	年	87.60	87.53	26	R2年(暦年)

(2) 鹿児島県のポテンシャル

本県は、魅力ある観光資源や多様な「日本一」、安心・安全で豊富な「食」、豊かな自然環境など、多くの魅力や強み(ポテンシャル)を有しています。ここでは、その一部についてご紹介します。

魅力ある観光資源

本県には、南北600キロメートルに及ぶ広大な県土の中に、美しい自然環境が織りなす四季折々の景観、特色ある島々、奥深い歴史を感じさせる名所、良質で豊かな温泉など、魅力ある観光資源が豊富にあります。

また、世界的に価値を認められた資源も豊富であり、国内で最多の3つの世界遺産(世界自然遺産:「屋久島」、
「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」、世界文化遺産:「明治日本の産業革命遺産」)を有しています。

【世界に誇る鹿児島島の遺産群】

(屋久島)

特異な生態系と優れた自然美が評価され、1993年12月、我が国で初めて世界自然遺産に登録されました。2023年は、登録から30周年の節目を迎えます。

(明治日本の産業革命遺産)

本県の旧集成館(旧集成館機械工場、反射炉跡、旧鹿児島紡績所技師館[異人館])、寺山炭窯跡、関吉の疎水溝の3つの資産は、幕末から明治期の重工業(製鉄・製鋼、造船、石炭産業)における急速な産業化の道程を証言する産業遺産群(現役産業施設を含む)の構成資産であり、これらは、九州・山口を中心とする8県11市の23の資産で構成される世界文化遺産として、2015年7月に登録されました。

(奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島)

奄美大島及び徳之島は、国内最大級の亜熱帯照葉樹林に、アマミノクロウサギに代表される国際的にも希少な固有種が多く生息・生育する生物多様性保全上重要な地域であることなどが評価され、沖縄県の2つの地域とともに、2021年7月に世界自然遺産に登録されました。



縄文杉

多様な「日本一」を誇る鹿児島

本県は、恵まれた自然環境などを生かし、「肉用牛(黒毛和種)」や「豚」といった畜産物、「さつまいも」や「そらまめ」などの農産物、養殖の「ブリ」・「カンパチ」・「ウナギ」の生産量が日本一であるなど、安心・安全でおいしい食物の宝庫です。

また、ツルの渡来数、ウミガメの上陸確認数、国内唯一のロケット打上げ施設の立地など、多様な「日本一」が存在しています。

家畜飼養頭羽数等

肉用牛(黒毛和種)飼養頭数、豚飼養頭数、ブロイラー出荷羽数、第12回全国和牛能力共進会で「和牛日本一」

農産物生産量

さつまいも、そらまめ、さやえんどう、オクラ、スナップえんどう、なつみかん、たんかん、パッションフルーツ

水産物生産量

養殖ブリ、養殖カンパチ、養殖ウナギ、かつお節

林産物生産量等

竹材、しきみ、港別丸太輸出量(志布志港)

その他

離島面積・人口、ツルの渡来数、ウミガメの上陸確認数、桜島大根(世界一大きい)、屋久島の縄文杉、蒲生の大楠、沖永良部のガジュマル、指宿の大ウナギ、金産出量、ロケット打上げ施設 等



肉用牛(黒毛和種)
第12回全国和牛能力共進会第4区1席
内閣総理大臣賞

成長著しいアジアに近接した地理的優位性

本県は、我が国本土の最南端に位置し、世界の経済成長の6割を占めるアジアに近接しています。

こうした地理的優位性を生かした交通・物流ネットワークも構築されており、ソウル、上海、台北、香港といった各主要都市と定期航空路線で結ばれているとともに、鹿児島港、川内港、志布志港の3つのC I Q機能を有する国際物流港湾があり、中国、台湾、韓国への国際定期コンテナ航路が開通されています。

さらに、香港、シンガポール、韓国全羅北道、中国江蘇省など、アジア地域を中心とした海外との長年にわたる幅広い分野での交流実績を有しています。

南北600キロメートルに広がる豊かな自然

本県は、紺碧の錦江湾に浮かび今も火山活動が続いている桜島、変化に富んだ長い海岸線、源泉数全国第2位を誇る豊富な温泉、温暖な気候と海の恵みをもたらしている黒潮など、豊かな自然環境に恵まれています。

また、日本で初めて国立公園に指定された霧島、日本で初めて世界自然遺産に登録された屋久島、アミノクロウサギなど世界的にも貴重な動植物を有し、世界自然遺産に登録された奄美大島、徳之島など、世界でここにしかない自然環境が豊富です。

このような豊かな自然環境は、農林水産業の優れた生産基盤をなしており、黒豚、黒毛和牛、黒糖、黒酢、お茶、焼酎などの豊富な食品や、健康・長寿につながる豊かな食文化を育み、魅力あふれる観光資源にもなっています。

個性ある歴史と多彩な文化

本県は、縄文時代の上野原遺跡などが示すように、早くから人々が定住生活を営んでおり、また、黒潮に育まれた南方との様々な交流による文化やアジアの国々との長い交流の歴史があります。

16世紀には、種子島への鉄砲伝来、フランシスコ・ザビエルによるキリスト教の布教など、遠くヨーロッパの文化に触れ、19世紀には、積極的に西洋文化を取り入れることに情熱を注ぎ、反射炉や各種工場の建設や英国への留学生派遣などを行いました。

また、日本が初めて公式に参加することになった第2回パリ万国博覧会に、幕府とは別のパビリオンで参加し、薩摩焼など郷土の特産品を出品するとともに、「薩摩琉球国勲章」を各国高官に贈るなど、薩摩を諸外国に強くアピールしました。

こうした先進的な取組を通じ、鹿児島は、当時の日本をリードする大きな力を持つようになり、新しい国家を樹立する原動力となりました。

また、本県は、いわゆる大和文化圏と琉球文化圏との接点であったことも影響し、民俗の宝庫と言われるほど個性豊かな祭礼行事や民俗芸能が存在し、各地で多様な生活文化が育まれています。

さらに、大島紬、川辺仏壇、薩摩焼や薩摩切子等の工芸技術など特色ある伝統文化や、世界文化遺産の構成資産である「旧集成館」など、我が国の近代化の魁となった産業遺産も多く存在しています。



川辺仏壇

南の風土に培われた資質に富んだ人材

本県は、西郷隆盛や大久保利通といった近代国家・日本の形成に大きく寄与した先人達を数多く輩出しました。

今なお、このような幕末の混乱期に未来を切り拓いた若者を育てた教育的風土や、地域全体で子どもたちを育てるといった伝統的な地域の教育力は継承されています。

また、産業・経済・学術など様々な分野でも多くの優秀な人材を輩出しています。

南に開かれた地理的環境や世界と接する中で培われた明朗かつ達で進取の気性に富んだ県民性、南国特有の開放的で明るい気質は、国内外での交流を拡大する上で有利な点となっています。

優しく温もりのある地域社会

本県は、子どもや高齢者を対象としたボランティア活動を行う人の割合が全国の中でも上位であるなど、地域で支え合う仕組みが残っていると同時に、地域づくりなど社会的な課題に市民が自発的・自立的に取り組むNPO法人数は、人口当たり全国上位と高い水準にあります。

このような中で、地域コミュニティやNPO、企業、学校などの多様な主体が県内各地域において、子育て世代の交流の場の提供や育児相談、放課後児童クラブの運営、都市・農村間の交流による過疎・高齢化地域の再生、河川・道路等の美化活動、障害者の自立支援など、様々な地域課題の解決に向けた取組を進めています。

地域資源等を活用した個性ある産業

本県は、全国有数の第一次産業県であり、良質で豊富な県産農林水産物を活用した特定保健用食品（トクホ）や機能性表示食品、特産品といった各種の加工食品の開発・商品化など、地域資源を生かした新たな産業が創出されています。また、離島や中山間地域における独自性の高い地域資源を活用した旅行商品の造成も行われています。

さらに、シラスを活用した新素材の開発・実用化、大島紬の生産工程における泥染め技術を活用した独特の風合いや光沢のある新商品デザインの開発など、様々な分野において本県企業の特許オンリーワンの技術を生かした研究開発や事業化が進行しています。